

令和4年度 第6回 有田区地域協議会

次 第

日時：令和4年12月5日（月）午後6時30分～

会場：カルチャーセンター ミーティングルーム

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

【協議事項】

- ・地域活性化の方向性について

4 その他

- ・次回の地域協議会の開催について

 月 日（ ）午後6時30分～ カルチャーセンター

5 閉 会

有田区の地域活性化の方向性についてこれまで出された意見

項目	現状	どうしていきたいか(方向性)	具体的な方法・手法	
有田区の魅力	・自然豊かで、かつ、交通の便もよい 住民			
	・関川の河川敷が憩いの場 ・商業・工業もさかん			
	・生活環境(文化・スポーツ施設)が整っていて便利	A	・環境をいかすため、車がない交通弱者でも移動しやすく	A
	・住宅地が多い。若い世代や子どもが多い	住民	・あらゆる世代が住みやすい地域としてありつづける	住民
	・新旧の住宅が混在している	住民	・近隣や町内会とのゆるやかな関係性を継続し、住んでいて心地よい雰囲気は維持したい。	
		A	・空き家・空地进行を減らす	A
		住民	・空き家を積極的に更地にして、若い世代住み着いてもらう。	住民
	・町内会館や公園が充実している	住民	・カルチャーセンターを中心として、更に町内会館や公園でも住民交流の場があると良い。車の運転ができない人、足腰が弱い人も参加しやすい集まり。	住民
	・学校コミュニティがさかんで雰囲気がよい	A	・子どもが学習塾以外で勉強できるスペース	A
	B	・今の良いものを、どんどん継続して魅力アップすることを考える	B	
有田区の特長、個性	・国籍問わずいろいろな所から多くの方が集まってきて、上越市の中でも人口が増えている ⇒縦横の交流がなかなか生まれていない	A	・そういう人たちに魅力、特性を伝えていく必要がある ・文化的な取組、活動グループを育成する	A
	・歴史的素材がある(春日新田駅、馬市、北国街道)		・住んでいる人に伝え、魅力を感じてもらう	B
	・水害が発生しやすい地形		・防災に力を入れていく	住民
		追加	・有田区の指定避難所は6ヶ所あり、該当町内会における合同避難訓練が必要である。	追加
	・町内会長協議会を中心として専門分野を担当する団体が実行部隊となって実施している			
	・カルチャーセンターを中心に、高齢者サロン、子育てサロン、コミュニティスクールの3本立てで活動しており、全国に誇れるものがある ⇒世代間のつながりが生まれている			・これまでの取組を史書のようなものにまとめてはどうか
次世代に残していきたいもの	・地域の祭礼(春日新田、佐内、安江)、体育祭		・絶やすことなく続けていく	住民
		A	・有田区として合同夏祭り等をできないか	A
		B	・有田全体の祭典を行う(音楽祭、芸術祭、文化展 等)	
				追加
	・各町内のイベント(夏祭り、さいの神)		・有田地域共通のイベントがあるとよい(拠点がカルチャーセンター)	B
	・歴史的史料等(我が有田希望満つ、下門前の400年、蟹池伝説の紙芝居)	A	・子ども向けに小さい頃から伝えていく	
				A
				B
		B	・有田の起こり等、過去、未来に向けた継続的な歴史講座とツアー等を実施	B
	住民	住民	・平和を考える日として記念日とし、住民に参加してもらう	
	住民	住民	・有田村役場を郷土史から調べ小学校等の生徒に伝えていく	
	住民	住民	・食堂で農家レストランを開く。空き教室は、希望者に開放し趣味の部屋とする。作品を販売する。	
住民	住民	・小猿屋地区の方から聞いてイベント等で発表していく		
住民			住民	
住民			・歴史の語り部の育成	

